

財政収支(1月)

(1) 1月の歳入は前年同期比96.4%増、税収は同86.1%増。歳出は前年同期比28.3%増。
 (2) 結果として1月の財政収支は300.44億リラの黒字(前年同期比224.4%増)、プライマリーバランスは442.76億リラの黒字(同2102.5%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2021年1月(A)	2022年1月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	896.09	1,760.02	96.4%
税収	792.27	1,474.18	86.1%
所得税	177.50	274.73	54.8%
法人税	4.73	144.97	2964.9%
付加価値税(国内及び輸入)	274.27	537.17	95.9%
特別消費税	161.07	222.02	37.8%
その他税収	174.70	295.29	69.0%
税外収入等	1.04	2.86	175.3%
歳出(b)	1,137.63	1,459.58	28.3%
人件費	327.85	476.24	45.3%
物品及びサービスの購入	33.58	57.63	71.6%
経常移転	449.72	641.36	42.6%
資本支出	25.24	43.47	72.2%
支払利子(c)	219.43	142.31	▲35.1%
その他歳出	81.81	98.57	20.5%
財政収支(a-b)	▲241.54	300.44	224.4%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲22.11	442.76	2102.5%

経常収支(2021年通年)

(1) 2021年の経常収支は、148.82億ドルの赤字(前年同期は355.37億ドルの赤字)。
 (2) 2021年の貿易収支(物品)は291.61億ドルの赤字で前年同期から赤字幅縮小、旅行収支は191.77億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

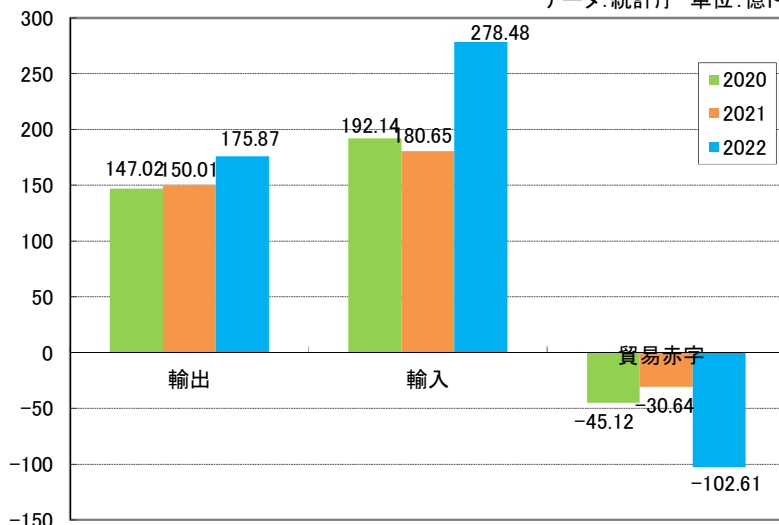
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2020年1-12月(A)	2021年1-12月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲355.37	▲148.82	58.1%
貿易収支(物品)	▲378.63	▲291.61	23.0%
サービス収支	115.38	251.61	118.1%
旅行収支	91.80	191.77	108.9%
第1次所得収支	▲93.92	▲117.80	▲25.4%
第2次所得収支	1.80	8.98	398.9%
労働者送金	1.69	1.81	7.1%
資本移転等収支	▲0.36	▲0.70	▲94.4%
金融収支	▲394.80	▲44.78	88.7%
直接投資	▲45.92	▲76.97	▲67.6%
証券投資	95.56	▲7.61	▲108.0%
その他投資	▲125.82	▲193.50	▲53.8%
外貨準備	▲318.62	233.30	173.2%
誤差脱漏	▲39.07	104.74	368.1%

貿易収支(1月)

(1) 1月の輸出額は175.87億ドル(前年同期比17.24%増)、輸入額は278.48億ドル(同54.15%増)となり、この結果、貿易収支は102.61億ドルの赤字(同234.89%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.6%(前年同期は43.0%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は22.6%(前年同期は31.8%)となっている。

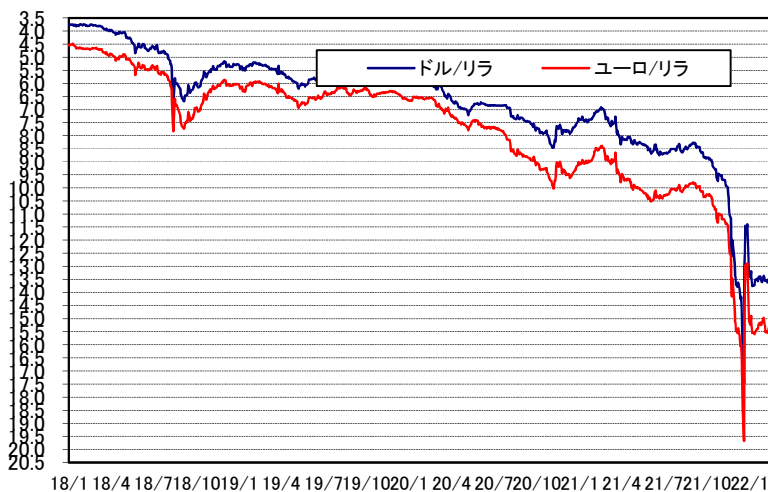
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(2月)

1月の消費者物価指数が48.69%と高い数値であったものの、17日の金融政策委員会で政策金利が据え置かれたこともあり、安定していたが、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受けて、為替はリラ安に動いた。月末は1ドル=13.82リラ(前月末比3.0%安)、1ユーロ=15.47リラ(同3.2%安)となった。

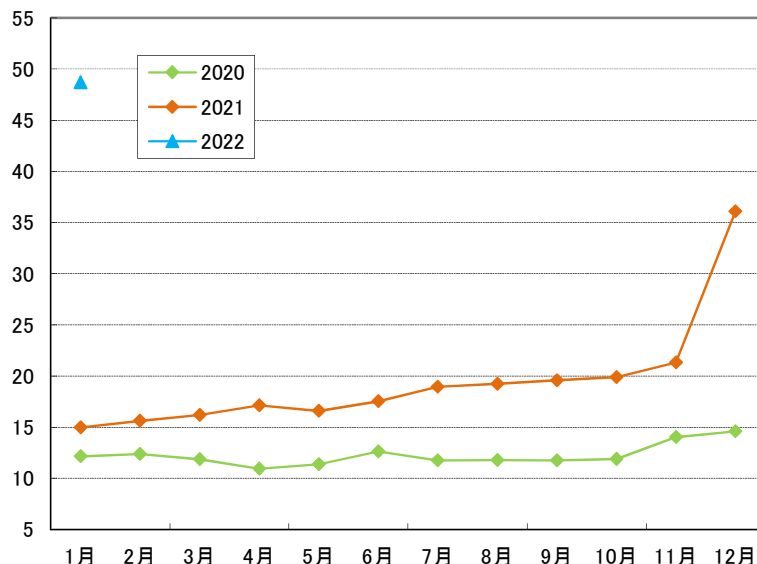
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(1月)

- (1) 1月の消費者物価は前年同月比48.69%増、前月比11.10%増。
- (2) 項目別にみると、前年同月比68.89%で輸送が、前月比21.90%でアルコール・タバコが最も上昇した。
- (3) 2022年末のインフレ率の中銀目標(1/27時点)は前年同月比23.2%。
- (4) 国内生産者物価指数は前年同月比93.53%増、前月比10.45%増となった。

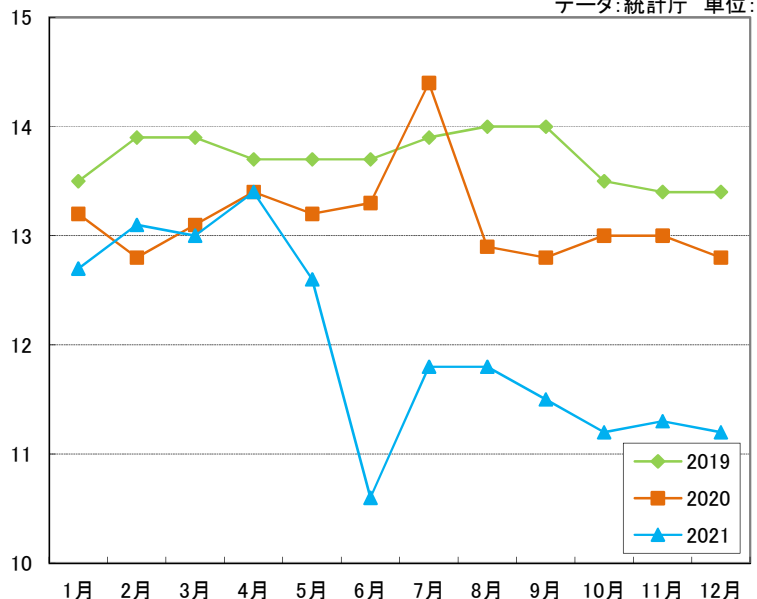
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(12月)

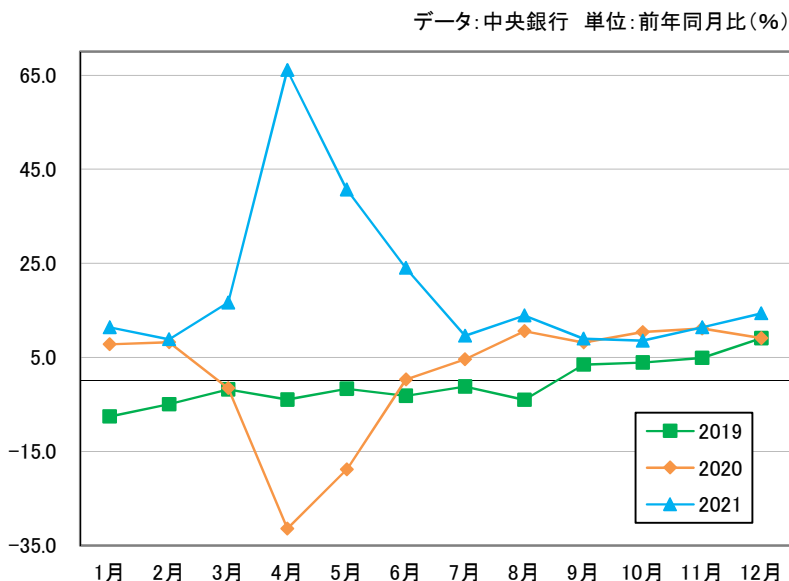
- (1) 12月の失業率(季節調整後)は11.2%。前年同月から1.5%減少となった。
- (2) 労働力人口は3393.5万人、就労者数は3014.1万人、失業者数は379.4万人。
- (3) 男性の失業率は9.9%、女性は13.8%。若年層(15-24歳)の失業率は20.8%となっている。

データ:統計庁 単位:%



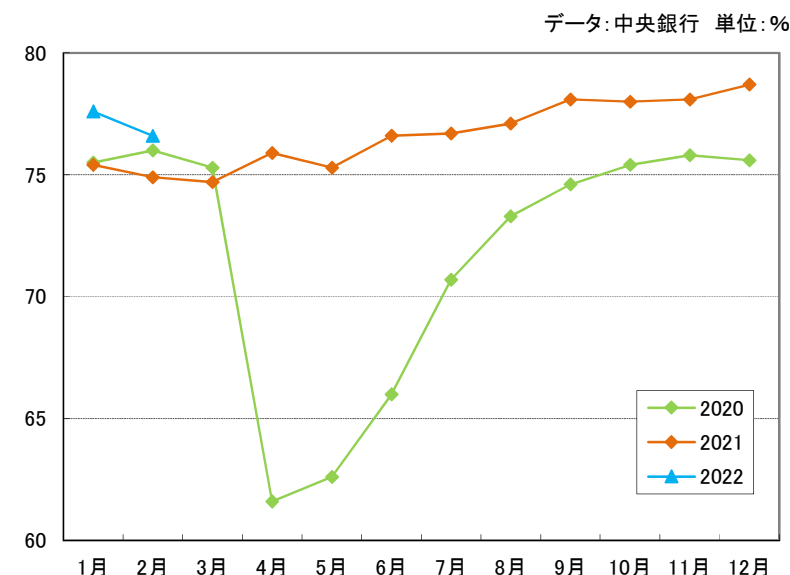
鉱工業生産(12月)

(1)12月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)14.4%増、前月比(季節及び日数調整後)1.6%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比13.9%増、資本財が同22.0%増、中間財が同13.3%増となった。



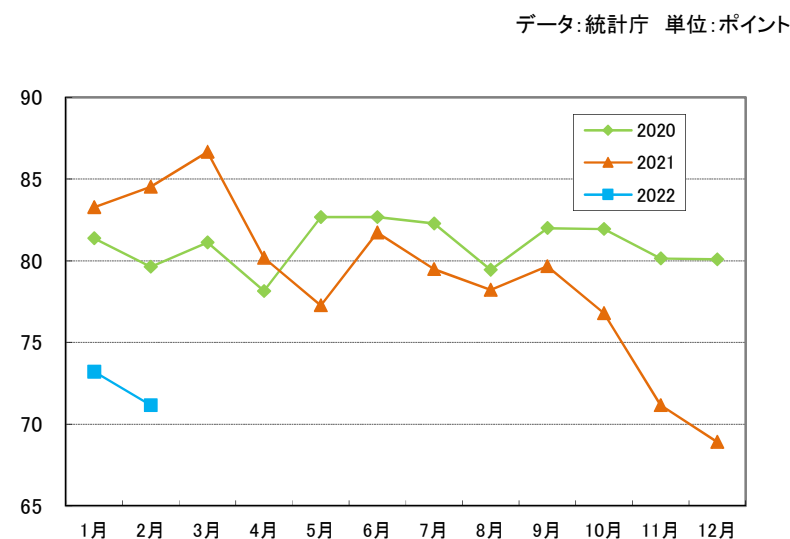
設備稼働率(2月)

(1)2月の設備稼働率は76.6%となり、前年同月から1.7ポイント上昇し、前月から1.0ポイント低下。
 (2)製造業の分野別では、紙及び紙製品製造業(84.7%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品(61.6%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(2月)

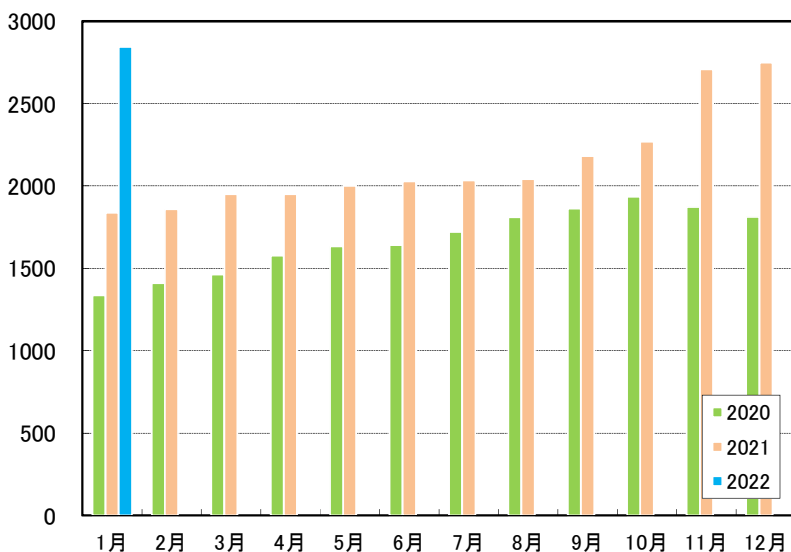
(1)2月の消費者信頼感指数(季節調整値)は71.2ポイントで、前月から2.0ポイント減少。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。



中央政府債務残高(1月)

(1)1月末時点での中央政府債務残高は2兆8,444億リラとなり、前月比3.5%増、前年同月比54.8%増となった。
 (2)また、国内債務比率は47.6%、自国通貨債務比率は33.4%(2021年末は34.0%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は1.6%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

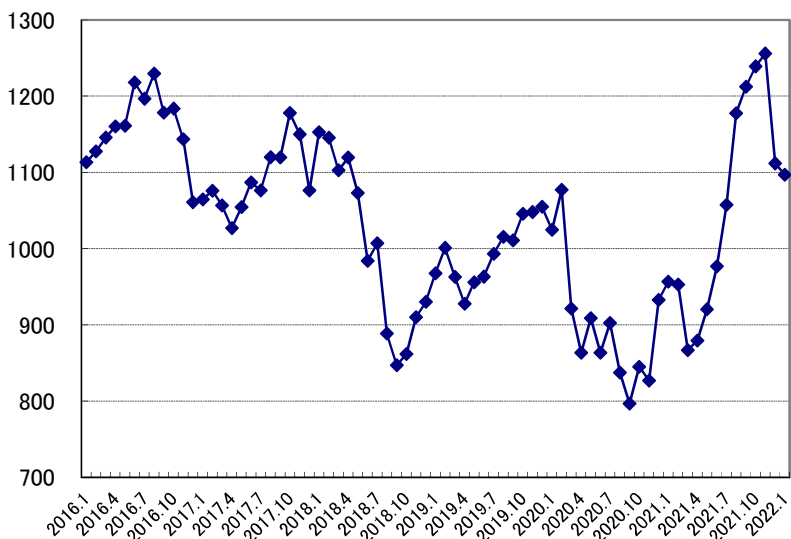
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(1月)

(1)1月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,097.17億ドルとなった。
 (2)前月から14.64億ドル減少し、2か月連続の減少となった。

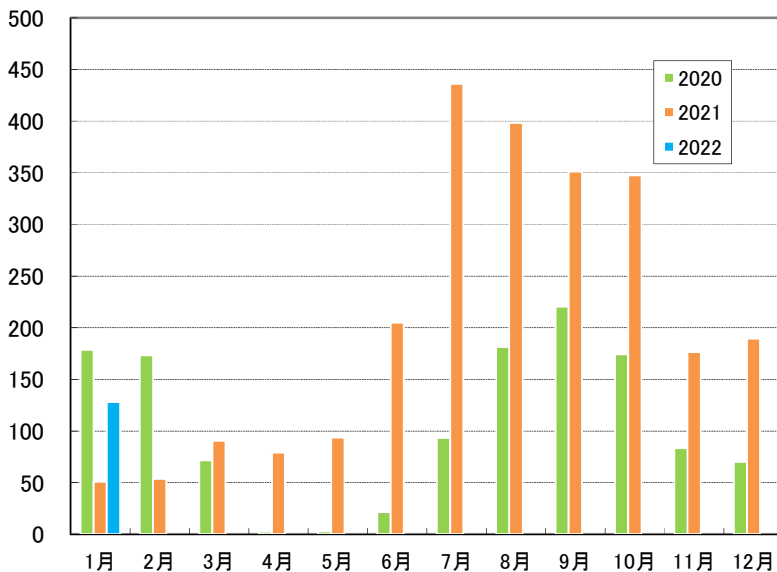
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(1月)

(1)1月の外国人訪問者数は1,281,666人で、前年同月比151.41%増。日本は768人であった(前年同月は321人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、134,215人で全体の10.47%を占め、以下、ブルガリア(109,971人)、イラン(106,957人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

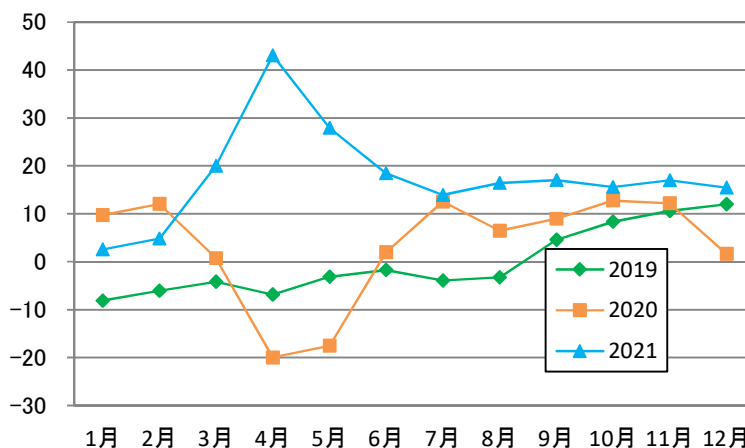


小売売上高(12月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)12月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)15.5%増、前月比(季節及び日数調整後)2.7%減。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比1.7%増、繊維・衣料が同77.3%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同13.1%増となった。

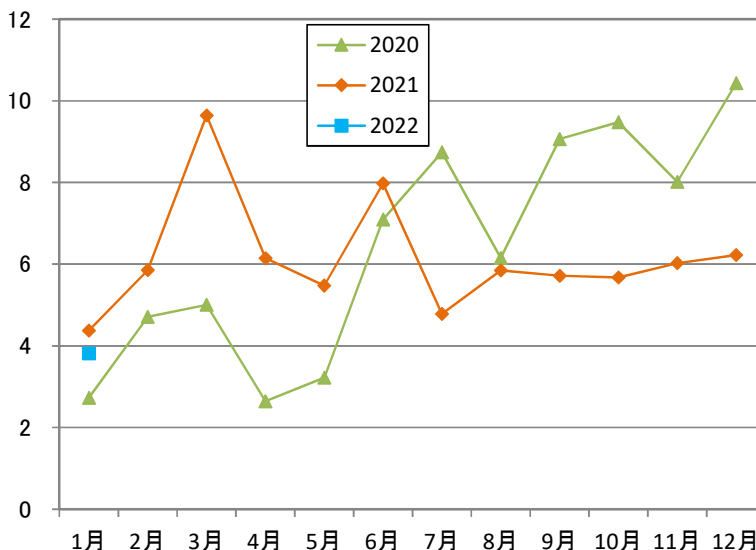


新車販売台数(1月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)1月の新車販売台数は38,131台で前年同月比12.80%減。

(2)1月の内訳は乗用車が29,020台(前年同月比17.9%減)、小型商用車が9,111台(同8.9%増)となった。



住宅販売戸数(1月)

データ:統計庁 単位:万户

(1)1月の住宅販売戸数は88,306戸で前年同月比25.10%増となった。

(2)1月は新築が27,203戸(前年同月比22.2%増)、中古が61,103戸(同26.5%増)。

(3)12月の住宅ローンでの購入は18,183戸(前年同月比69.4%増)、その他が70,123戸(同17.2%増)。

